令和８年度第１回匝瑳市健康づくり推進協議会議事録

令和８年７月２日（木）

１４時３０分から１５時３０分

匝瑳市保健センター集団指導室

＜出席委員＞　８名

増田　健太郎委員、大嶋　博一委員、塚本　繁雄委員、伊藤　茂委員、

木下　真一委員、佐藤　栄子委員

椎名　和浩委員（代理伊藤　賢一郎氏）、鎗田　和美委員（代理小野　康予氏）

＜欠席委員＞　４名

江波戸　寛委員、大野　裕子委員、太田　雅之委員、角田　利和委員

＜事務局＞

健康管理課：小川課長、岩田統括、川口主任保健師、伊藤副主査

農林水産課：木内主査補、渡辺主任主事

１　開会・参加者紹介　事務局

２　会長あいさつ

３　議事　議長　増田会長

（１）匝瑳市健康増進計画について

（２）その他

議長　会議の成立を宣言

（１）匝瑳市健康増進計画について

＜事務局＞

「健康増進法」「健康増進計画」「アンケート」について事務局から説明

健康増進法の目的、国民の健康の増進の総合的な推進に関し基本的な事項を定めるとともに、国民の健康の増進を図るための措置を講じ、国民保健の向上を図る。基本方針に都道府県健康増進計画及び市町村健康増進計画の策定と明記されている。

健康増進計画の目的は、健康増進法第８条に基づく市町村健康増進計画に対応するもので、国の「健康日本２１」、県の「健康ちば２１」を踏まえ計画を策定する。そうさ健康プランは、平成 29 年度に策定しており、新たな計画の策定にむけアンケート調査を実施する。調査対象者は 18 歳以上 69 歳以下の市民 2000 人となります。

＜増田議長＞

Ｐ３問６の健康上の問題で日常生活に影響はあるかとの設問で、健康上の問題とは具体的に何か目安はあるか。内服しており病気が問題の人のいれば、暴飲暴食で太ってしまった、足腰が痛いなども健康上の問題ともいえる。

＜事務局＞

健康上の問題について明確なものはない。千葉県の生活習慣に関するアンケートと同じ設問内容にしており、県のアンケート結果と比較ができるようにしている。県のアンケート結果では、影響があると思うものが全体で 26.6%で、男女ともに 70 歳以上の方が最も高くなっている。

＜委員＞

先に説明頂いた内容であるが、人生 100 年時代といわれている中で、なぜアンケートの対象上限を６９歳以下にしたのか。

＜事務局＞

匝瑳市では、６５歳以上の方の計画として高齢者福祉計画が策定されており、６５歳以上の方についてはそちらでカバーされていると考え、調査対象を６９歳以下と設定した。また、調査対象の上限を設けない場合に高齢の方に届いた際、アンケート回収率が下がるとのデータがあるため、上限を区切らせてもらった。

＜委員＞

自分自身勤めてる時と退職した後では、食に対する意識や内容は変わった。時間ができる中で、健康に関する意識の変化から生活習慣も変わったりしてきた。健康に対するアンケートであるので、広い世代に調査を行ったもよいのではないか。

＜委員＞

実際、高齢になると２０ページものアンケートを回答することは大変である。どこで年齢を区切ると決めるのは難しいことである。事務局にお任せする。

＜委員＞

Ｐ５問１２ですが、あてはまるものに全て〇をする内容になっているが、優先順位１から３をつけてもらう方法もあるのではないか。でも、該当するものを〇してもらう方が、何が一番問題か分かるかもしれないからこのままでいいね。

＜委員＞

Ｐ１１問３６ですが、設問と下記の表を同じ順番にした方がわかりやすいのではないか。

＜事務局＞

変更します。

＜委員＞

大項目「８．栄養と食生活について」で今、健康のためにサプリメントを活用している人が多くいるので、そのような項目をいれてみてはどうか。

＜事務局＞

質問項目にサプリメントについてどのように組み入れられるか、検討させていただきます。

＜委員＞

Ｐ１４問４６の「たばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか」の質問に対し、回答欄にアからコで場所が記載されているなかで、選択肢の「行かなかった」は、回答者に誤解を与えやすいのではないか。

＜事務局＞

回答者がわかりやすいように、表現について検討させていただきます。

＜委員＞

Ｐ１４大項目「１０．自然に健康になれる環境づくり 」となっていますが、問４６のようにたばこの煙を吸った場合は、不健康になると考えられるが、逆にその場所に行かなかったら健康になれる訳ではないと考えるので、表現を検討した方がよいのではないか。

＜事務局＞

大項目と質問の内容に違和感があるので、検討します。

＜委員＞

Ｐ１７問５１の「食品を購入する時に気を付けていることは何ですか」という内容だが、選択肢にはないが値段が結構気になってしまう。また、購入に当たり食材の原産地と値段を見て検討しており、実際原産地不明でも値段が半額だと悩んでしまうことがある。物価高騰の影響があるとも思うが。

＜事務局＞

やはり価格は、消費者行動に与える影響が大きいと考える。どういう形で盛り込めるかも含めて、検討します。

＜委員＞

Ｐ１７問４９でのところで、色々な経験する場所が、地元なのか、地元以外なのかを質問してもよいのではないか。地元でこういう経験できる機会を増やしたら、経験してくれる人がふえるのではないか。

＜事務局＞

意見として承知します。今回の調査の趣旨からははずれてしまうと考える。

（２）その他

＜委員＞

アンケートですが、紙媒体でおこなうのでしょうか。学校現場で結構アンケートを行うのですが、学校とか保護者とか地域の方々からグーグルフォーム等で簡単にできて集計もあっという間にできるのに、なんで紙媒体でおこなうのかと意見を頂くことが多い。

沢山の質問を回答するのも大変であり、アンケートって１個１個大事で、回収率上げないと実態って見えてこないですよね。紙媒体だと、大量に印刷して、封筒に入れて郵送してっていうより、ＱＲコードとか読み取って回答してもらい、集計もあっという間ですよね。これを紙でやる理由は何なんですか。

＜事務局＞

ご指摘はごもっともです。最近は、紙媒体とインターネットでの回答がありますが、ウェブ解答を想定していませんでした。業者を選定する際にそこの部分を盛り込んでおりませんでしたので、今回は紙媒体での実施となります。

＜委員＞

今時は、ウェブ解答が増えていますが、一方で高齢に方は紙媒体の方が楽な方もいますよね。

４　閉会　事務局

健康プラン策定に向け、今回を含めて３回実施します。

次回１０月の予定となっています。